

取組の主体			取組の対象				地域の国際化			特色ある取組				
JET-ALT	任用団体	CIR等との連携	児童・生徒 未就学児 小学 中学 高校				教員	住民	異文化理解	地域活性化	多文化共生	長期休業中の取組	配置の工夫	デジタルツールの活用

クリエイティブ・ライティング

実施時期：令和4年～現在
任用団体名：東京農業大学第二高等学校



Federbush Saya Danielle さん

取組のポイント

- クリエイティブ・ライティングとは、通常のアカデミック・ライティングの枠を超えてフィクションを創作する活動のこと。
- オリジナルのストーリーやキャラクターを生み出し、比喩的な表現を用いることで、生徒に想像力と創造力を身につけさせる。
- 高校2年生の英語の授業（50分）において、クリエイティブ・ライティングの概要と手法を教授し、生徒が実際にフィクションを創作。

任用団体の基本情報

生徒数：1,664人

※令和5年3月31日現在

JETプログラム参加者の人数：（ALT）1人

取組の背景・課題

クリエイティブ・ライティングとは、生徒の想像力と創造力を開発する文章作成である。クリエイティブ・ライティングを教えることにしたのは、日本の学校の英語カリキュラムでは通常扱われないトピックだからである。私の受け持つ生徒たちは、クリエイティブ・ライティングという言葉聞いたことがないと言い、もっと学びたいと言っていた。

アメリカの教室では、クリエイティブ・ライティングは幼少期から教えるのが一般的である。クリエイティブ・ライティングを通じて、生徒が楽しみながらオリジナルの世界観やキャラクターを想像することで、より多くの語彙と文体で表現方法を考えるようにすることをねらいとした。クラスメート同士が互いの興味や関心事をより深く知るきっかけにもなった。

取組の内容

【導入の経緯と準備】

- JET-ALTが発案。
- 着想は令和3年、JET-ALTに着任する7か月前。
- 教材は自分自身がアメリカの高校生時代に学んだことを思い出しながら、自分でPowerPointを作った。ネット上の素材は使用しなかった。
- 日本人英語教員とカリキュラムの作成と授業の進め方について議論・調整した。



授業の様子

取組の内容（続き）

【授業の流れ】

① ウォームアップ／グループストーリーを書く（10～15分）

生徒たちをグループに分ける。絵を見せ、その絵の背景となるストーリーを英語で考える。このとき、教室を巡回し、文法やスペル、発音についてグループをサポートするとよい。

② グループ発表（10分）

クラスの前でストーリーを発表する。発表方法は自由で、スキットを作る生徒もいた。発表が苦手な生徒もいるかもしれないが、人前で話すのに慣れるように、グループ発表の機会を多く設けるとともに、グループ全員が発表できるように配慮した。

各グループの発表後、簡単な英語で彼らのストーリーを再確認して、クラスメートが聞き取れなかった部分や、文法の間違いを訂正した。

③ フィクションについての学習（10分）

様々なジャンルのフィクションについて、各ジャンルの有名な物語を例示しながら教える。その後、フィクションを創作する際の構成を教え、私が例として構想したストーリーを共有した。

④ クリエイティブ・ライティングの実践（15～20分）

授業の最後の15～20分間は、自分たちの物語を書く時間とした。

【指導上の注意点】

- 多くの生徒が初めて創造的な文章を書くので、想像力豊かなアイデアや説明的な言葉を書くのに役立つ辞書を持たせた。
- 生徒たちはそれぞれiPadを持っているので、すぐに翻訳アプリに頼ってしまい、自分たち自身の力で日本語から英語へとストーリーを作っていくことができなかったことが、この授業を実施する上で難しかった点である。

取組の成果・今後の展望

生徒が書いた物語をすべて集めて読んだが、生徒が自分たちでキャラクターやプロットを考え、創造性を発揮していることに驚いた。このアクティビティは、よりカジュアルで楽しい方法で英語に触れることができ、かつ、生徒たちの英語知識の限界を超え、自分の考えを伝えるための新しい方法を考えるきっかけを与えることができた。（その多くは、これまでの授業で習わなかったトピックに関するものだった）

多くの生徒が「この授業が好きだ」と言ってくれたこと、英語で文章を書くということに関して、より自由に主体性を発揮できたことは刺激的だった。もっと授業があれば、有名な英文小説のストーリーを読んで分析し、人物像やテーマ、比喩的な表現について話したかった。

問合せ先

担当部署名：東京農業大学第二高等学校事務室

T E L : 027-323-1483

M A I L : zimubu@mail.nodai-2-h.ed.jp

U R L : <https://www.nodai-2-h.ed.jp/>

